

第3章

札幌市の文化財

第3章 札幌市の文化財

1 文化財の把握の方針

(1) 文化財を的確に把握するために

札幌市には、文化財保護法、北海道文化財保護条例、札幌市文化財保護条例による指定等がなされているもの以外にも、市民にとって価値のある文化財が数多く存在していると考えられます。これらを的確に把握し、適切な保存・活用につなげるためには、文化財保護法等が定める分類や、指定・選定・登録にあたっての価値基準にとらわれず、札幌の歴史文化を反映する「もの」や「こと」を、幅広く捉える視点が重要です。

上記を踏まえて、第2期計画における文化財の定義と、今後の文化財の把握の方針を以下に示します。

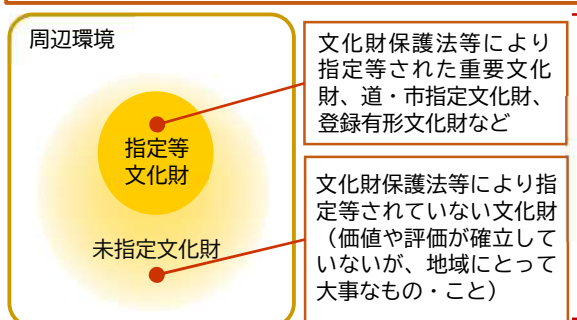
■文化財の定義

- ・文化財は、文化財保護法等の法令による指定等がなされているか否かにかかわらず、地域の歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた資産です。文化財保護法の定める文化財6類型（有形・無形・民俗・記念物・文化的景観・伝統的建造物群）、埋蔵文化財及び文化財の保存技術による分類が困難なものも含め、この要件を満たすものはこの計画において文化財として取り扱います。

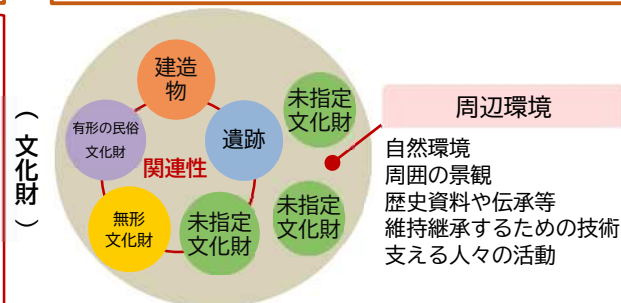
■文化財の把握の方針

- ・札幌の歴史文化を反映する様々な「もの」や「こと」を、市民が暮らしの中で大切に守り伝えてきたもの、失いたくないと考える地域の象徴のようなものや、文化財保護法による分類が困難なものなども含めて幅広く把握します。
- ・札幌の歴史文化の理解に欠かせない文化財との関連や、周辺環境との結びつきにも着目して、文化財を把握します。

指定等の有無にかかわらず幅広く捉える



周辺環境等にも着目して把握



文化財の把握の方針

(2) 文化財の分類方法等

第2期計画において、把握・収集した文化財を、文化財保護法等により指定、登録された文化財については文化財保護法が規定する文化財の有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群の6類型により分類し、未指定文化財については札幌市独自の分類により整理します。

指定等文化財の分類

大分類	中分類	小分類
有形文化財	建造物	
	美術工芸品	絵画
		彫刻
		工芸品
		書跡・典籍
		古文書
		考古資料
		歴史資料
無形文化財		
民俗文化財	有形の民俗文化財	
	無形の民俗文化財	
記念物	遺跡	
	名勝地	
	動物、植物、地質鉱物	
文化的景観		
伝統的建造物群		

※ 埋蔵文化財包蔵地については、第3章札幌市の文化財 3 文化財の現状 (2) 埋蔵文化財に記載します。

未指定文化財の分類

大分類	中分類	例
不動産 動かせないものすべて	景観要素 自然物や建築物・工作物など、土地に定着しており、所在の変更が難しいもの	建築物・工作物、自然物、植物、公園、道、橋、遺跡 など
	空間要素 実物がその場所にある根拠となっている地割・道筋・川筋など、地図上で確認できるもの	地割、道筋、川筋 など
動産 動かせるものすべて	有形要素 道具や記録、美術品など、不動産以外の形あるもの	用具・道具、食・料理、遺物、文献・資料、美術工芸品 など
	無形要素 個人が持つ技術や地域ならではの作法、言葉、受け継がれてきた風習、行事など形のないもの	民俗・伝承、技術、言葉、団体 など

2 文化財に関する調査の概要

(1) 調査報告書等による既往調査の整理

書籍名	著者・编者	発行年
市内文化財基本調査書	札幌市教育委員会	昭和 45 年（1970 年）
市内文化財基本調査 工作物資料	札幌市教育委員会	昭和 45 年（1970 年）
札幌市文化財基礎調査 郷土史跡	札幌市教育委員会	昭和 45 年（1970 年）
札幌市文化財基礎調査 工作物資料	札幌市教育委員会	昭和 45 年（1970 年）
工作物（文化財基本調査）その 1	札幌市教育委員会	昭和 47 年（1972 年）
工作物（文化財基本調査）その 2	札幌市教育委員会	昭和 47 年（1972 年）
文化財調査報告	札幌市教育委員会	昭和 59 年（1984 年）
文化財調査報告 2	札幌市教育委員会	昭和 59 年（1984 年）
文化財ノート 1	札幌市	平成元年（1989 年）
歴史的建造物基礎調査綴り	札幌市	平成 8 年（1996 年）
郷土資料館収蔵品一覧	札幌市	平成 12 年（2000 年）
登録文化財候補建造物基礎調査報告書	札幌市	平成 15 年（2003 年）
近代和風建築総合調査報告書	北海道教育委員会	平成 19 年（2007 年）
歴史的石造等建造物所在一覧（調査報告）	札幌市	平成 19 年（2007 年）
埋蔵文化財調査報告書一式	札幌市教育委員会	昭和 48 年（1973 年）～
歴史的資産活用推進事業に係る調査（H27 年度）	札幌市	平成 28 年（2016 年）3 月
歴史的資産活用推進事業に係る調査（H28 年度）	札幌市	平成 29 年（2017 年）3 月
歴史的資産活用推進事業に係る調査（H29 年度）	札幌市	平成 30 年（2018 年）3 月
札幌市歴史的資産調査リスト	札幌市	平成 30 年（2018 年）3 月
札幌市指定有形文化財等候補物件選考調査業務	札幌市	令和 4 年度（2022 年度）
令和 5 年度 未指定・未登録文化財（建造物）調査及び評価検討業務	札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会	令和 6 年（2024 年）3 月

(2) 近年の文化財調査

近年では、「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン 2015」における取組から、札幌市における文化財の保存・活用の方針を検討するため、指定等がないものを含めた、広範な文化財の把握を目的とした調査を実施しました。

ア 建造物・土木構造物に関する調査

平成 27 年度（2015 年度）から平成 29 年度（2017 年度）に、文献調査により抽出した、建造物約 600 件及び土木構造物約 220 件の一部（建造物 163 件、土木構造物 37 件）について、現況調査を実施し、結果を個別シートにまとめました。

また、令和 4 年度（2022 年度）から令和 5 年度（2023 年度）に、札幌市域内における未指定文化財の現況や価値等の詳細な調査を行うとともに、札幌市指定有形文化財等への該当可能性を調査しました。

イ 郷土資料館収蔵資料に関する調査

市内の郷土資料館が所蔵する資料の概要を把握し、今後の取り扱いを考える際の基

礎資料としました。

ウ 新札幌市史等からの文化財の抽出調査

新札幌市史、さっぽろ文庫別冊から、建築・制作・発祥等から一定年数（50年以上）経過している「もの」や「こと」（成立年代不詳のものを含む）約9,100件を抽出し、併せてこれらの文化財について札幌の特徴を表す「キーワード」（開拓使、アイヌ文化、オリンピック、タマネギ栽培等）との関連性で整理しました。

エ 札幌市による過去の調査結果の再整理

札幌市が昭和45年（1970年）以降に行った既往調査報告書に記載された文化財のリスト化を行いました。

オ 市民参加による文化財の調査・把握

市民が知る文化財の情報を広く収集するため、市内各地域の歴史文化を表す「大切なもの」、「失いたくないもの」、「なくなっては寂しいもの」を「地域のお宝」と題し、市民や地域から「地域のお宝」を広く募集するアンケートを実施しました。

①全ての市民を対象としたアンケート

調査名	「次の世代に残したい 地域のお宝 教えてください！！」
回収数	555件（Web500件、FAX・メール55件）
調査方法	1. Web上でのアンケートシステム 2. 広報さっぽろや札幌市ホームページの告知、区役所、まちづくりセンターへの配架
調査期間	1. 平成30年（2018年）8月1日（水）～8月2日（木） 2. 平成30年（2018年）8月1日（水）～9月28日（金）
設問	・自分の身近な地域のお宝（文化財）について ・札幌の歴史文化のイメージ

②連合町内会長へのアンケート

調査名	「連合町内会長が選ぶ 地域のお宝 教えて下さい！！」
回収数	37件（配布数110件、回収率33.6%）
調査方法	郵送配布、FAX・郵送・メール回収
調査期間	平成30年（2018年）8月1日（水）～9月3日（月）
設問	地域のお宝（文化財）について

③シンポジウム参加者へのアンケート

調査名	さっぽろれきぶんフェスについてのアンケート
調査対象	さっぽろれきぶんフェス来場者
回収数	78件
調査方法	シンポジウム「さっぽろれきぶんフェス」の来場者への配布・回収
調査日	平成30年（2018年）11月23日（金・祝）
設問	地域のお宝（文化財）について

カ 市民ワークショップ（『れきぶんワークショップ』）

市民が次世代に伝えたいと考える地域の文化財について話し合い、調べ、文化財同士つながりや札幌の歴史文化の特徴を発見する連続講座『れきぶんワークショップ』

を開催しました。

また、令和2年度（2020年度）からは、札幌市歴史文化のまちづくり推進協議会により、関連文化財群とストーリーの設定に向けた意見交換の場として、市民ワークショップを実施し、関連文化財群を構成する文化財の掘り起こしを行いました。

① 平成30年度（2018年度）

名称	札幌の歴史文化を知り・調べ・考える れきぶんワークショップ
参加対象	札幌市民
参加者数	25名
実施期間	第1回ワークショップ 平成30年(2018年)8月25日(土) 現地調査 平成30年(2018年)9月中旬～下旬 第2回ワークショップ 平成30年(2018年)10月14日(日)
内容	第1回ワークショップ ・講演（札幌の街のなりたち） ・グループワークによる「地域のお宝」共有、選出 現地調査 ・グループごとに選出した「地域のお宝」に関する現地調査 第2回ワークショップ ・グループワークで「地域のお宝」の魅力を伝えるストーリーづくり

② 令和2年度（2020年度）

名称	札幌の歴史を知り・調べ・考える れきぶんワークショップ2020
実施期間	第1回 令和2年8月23日 第2回 令和2年9月5日～6日 第3回 令和2年9月27日
参加人数	21名
内容	第1回 ・地域計画の説明、札幌の特徴、歴史文化についての勉強会 ・札幌軟石、大友堀、開拓使に関連する意見交換 第2回 ・現地調査（札幌軟石、大友堀、開拓使） 第3回 ・関連文化財群及びストーリー（案）の意見交換

③ 令和3年度（2021年度）

名称	れきぶんワークショップ2021
実施期間	第1回 令和3年8月22日 第2回 令和3年8月28日～29日 第3回 令和3年9月11日
参加人数	16名（オンライン開催）
内容	第1回 ・講演（札幌の歴史文化について～縄文文化と札幌オリンピック1972～） ・縄文文化、札幌オリンピックに関連する意見交換 第2回 ・自主調査（縄文文化、札幌オリンピック） 第3回 ・関連文化財群及びストーリー（案）の意見交換

④令和4年度（2022年度）

名称	れきぶんワークショップ2022
実施期間	第1回 令和4年 9月25日 第2回 令和4年10月 8日～9日 第3回 令和4年10月16日
参加人数	19名
内容	第1回 ・講演（札幌の歴史文化について） ・風物詩、積雪寒冷都市に関連する意見交換 第2回 ・現地調査（風物詩、積雪寒冷都市） 第3回 ・関連文化財群及びストーリー（案）の意見交換

④令和5年度（2023年度）

名称	れきぶんワークショップ2023
実施期間	第1回 令和5年12月23日 第2回 令和6年 2月 3日
参加人数	23名
内容	第1回 ・講演（「みち」、「酪農」、「鉄道と軌道」） ・みち、酪農、鉄道と軌道に関連する意見交換 第2回 ・関連文化財群及びストーリー（案）の意見交換

キ 札幌市地域文化財認定制度による地域文化財の公募

未指定・未登録の文化財の情報を発信することで、その価値や魅力を市内外に広く伝え、文化財保護の機運醸成を図ることを目指し、令和5年度より「札幌市地域文化財認定制度」を開始し、地域文化財候補の推薦を、広く市民に呼びかけました。

募集期間	令和5年8月1日～11月30日
広報	報道機関への投げ込み、広報さっぽろへの掲載、札幌市HPへの掲載、区役所等でのチラシ配布
推薦件数	8件
認定件数	5件（令和6年3月28日時点）

(3)調査の整理分析

これまで整理した調査の概要をまとめると、札幌市の文化財に関する調査の現状は、次の表のように整理することができます。なお、調査の現状については、札幌市が独自に設定した未指定文化財の分類方法に基づいて記載します。

第1期計画の作成時に、既往調査の整理や市民ワークショップなどにより各分類の文化財の把握調査を行いました。不動産の景観要素では、平成27年度（2015年度）から、一部の建築物・工作物について、その価値付けや現況を把握する詳細な調査を行いました。一方で、地割や道筋といった空間要素、用具・道具や食・料理、美術工芸品などの有形要素、民俗・伝承や技術などの無形要素については、価値付けや現況を把握する調査が行えておりません。

なお、埋蔵文化財包蔵地や考古資料については、札幌市埋蔵文化財センターにおいて、発掘調査が行われ、その結果が整理されております。

文化財の調査状況

大分類	中分類	例	調査状況
不動産	景観要素	建築物・工作物、自然物、植物、公園、道、橋、遺跡 など	○
	空間要素	地割、道筋、川筋 など	△
動産	有形要素	用具・道具、食・料理、遺物、文献・資料、美術工芸品 など	△
	無形要素	民俗・伝承、技術、言葉、団体 など	△

○：概ね調査ができている。

△：調査が不十分である。

3 文化財の現状

(1) 文化財保護法等による指定等文化財

札幌市には、令和7年（2025年）3月時点で、国指定文化財17件、道指定文化財4件、市指定文化財11件、国登録文化財27件の計59件の指定等文化財があります。

指定等文化財について、文化財保護法上における類型別に見ると、有形文化財の建造物が40件と最も多くなっており、多くが国登録有形文化財です。次いで有形文化財の美術工芸品が10件、記念物6件、民俗文化財2件、無形文化財1件と、特に民俗文化財と無形文化財が少なくなっています。また、6類型の他に文化財保護法上の保護の対象となる、文化財の保存技術として選定されたものはありません。

指定等文化財の状況

類型		国			道		市	計	国	合計	
		指定	選定	選択	指定	選択	指定		登録		
有形文化財	建造物		8	－	－	2	－	3	13	27	40
	美術工芸品	絵画	0	－	－	0	－	0	0	0	0
		彫刻	0	－	－	0	－	1	1	0	1
		工芸品	2	－	－	0	－	0	2	0	2
		書跡・典籍	0	－	－	0	－	0	0	0	0
		古文書	0	－	－	0	－	0	0	0	0
		考古資料	0	－	－	1	－	1	2	0	2
		歴史資料	1	－	－	1	－	3	5	0	5
無形文化財		0	－	0	0	－	1	1	0	1	
民俗文化財	有形の民俗文化財		1	－	－	0	－	0	1	0	1
	無形の民俗文化財		1	－	0	0	0	0	1	0	1
記念物	遺跡		2	－	－	0	－	2	4	0	4
	名勝地		0	－	－	0	－	0	0	0	0
	動物、植物、地質鉱物		2	－	－	0	－	0	2	0	2
文化的景観			－	0	－	－	－	－	0	－	0
伝統的建造物群			－	0	－	－	－	－	0	－	0
合計			17	0	0	4	0	11	32	27	59

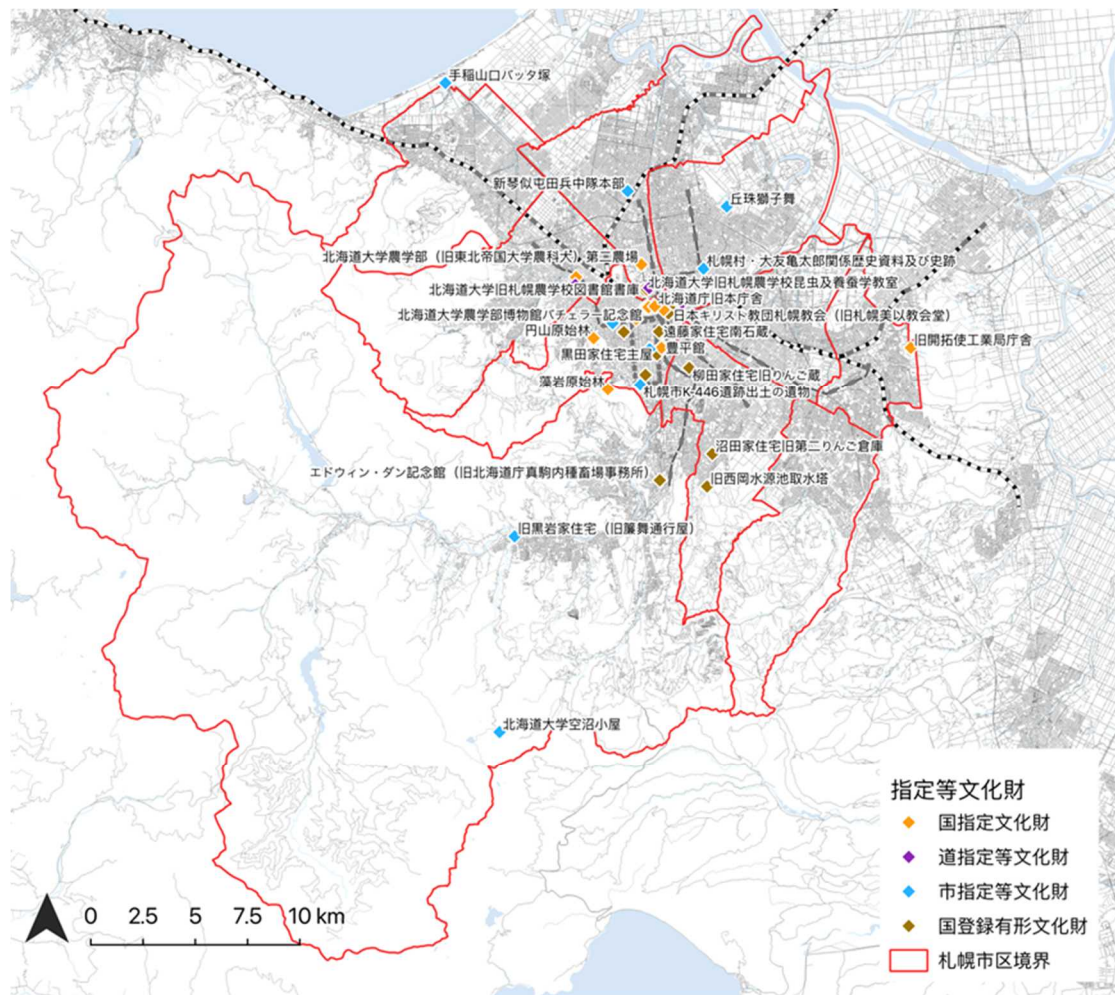
※令和7年（2025年）3月時点



北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)



旧札幌農学校演武場
(時計台)



指定等文化財の分布

※P.43～53の各表における名称はそれぞれ指定・選定等がされた名称を記載しているため、同一のものでも名称が一致しない場合があります。

■有形文化財（建造物）

有形文化財（建造物）は、近代以降の建築物の割合が高く、その中には、北海道大学の前身である旧札幌農学校（旧東北帝国大学）に由来する木造建築が多く含まれます。

指定等を受けた建造物の大半は、札幌市・北海道・国立大学法人北海道大学が所有するもので、都心部にある一部の文化財は、北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）や旧札幌農学校演武場（時計台）のように主要な観光拠点となり、札幌の歴史文化のイメージや魅力の形成に貢献しているものもあります。

国指定重要文化財

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
八窓庵 （旧舎那院忘筌）	中央区中島公園1番	札幌市	昭25.8.29	江戸初期の茶人小堀遠州（1579～1647年）の晩年の作と伝えられる草庵風の茶室
豊平館	中央区中島公園1番20号	札幌市	昭39.5.26	明治13年に開拓使が建てた洋風建築物で、明治初期のホテル建築の貴重な遺構
北海道庁旧本庁舎 （赤れんが庁舎）	中央区北2・3条西5・6丁目	北海道	昭44.3.12	明治21年に建てられた米国風ネオ・バロック様式の官庁建築物
北海道大学農学部 （旧東北帝国大学農科大学）第二農場	北区北18・19条西7・8丁目 北海道大学構内	国立大学法人北海道大学	昭44.8.19	明治42年から本道酪農の模範農場として造られた。耕馬舎、穀物庫等全9棟
旧札幌農学校演武場 （時計台）	中央区北1条西2丁目	札幌市	昭45.6.17	米国中西部建築様式の影響を受けた実用的な建物で、明治11年に開拓使が建築
北海道大学農学部 植物園・博物館	中央区北3条西8丁目 北大植物園内	国立大学法人北海道大学	平1.5.19	明治15年建築の博物館本館 同33年建築の博物館事務所 同17年建築の博物館倉庫 同44年建築の植物園門御所など
旧開拓使工業局庁舎	厚別区厚別町小野幌 （北海道開拓の村内）	北海道	平25.8.7	明治10年に札幌市街中心部に建設され、昭和54年に北海道開拓の村に創建時の姿で移築された。明治初期の北海道開拓を支えた開拓使工業局の工作場の現存唯一の遺構
旧札幌控訴院庁舎	中央区大通西13丁目	札幌市	令2.12.23	大正15年に建てられた、煉瓦・軟石・RC構造の洋風建築物

道指定有形文化財

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
琴似屯田兵屋	西区琴似1条7丁目 琴似神社境内	琴似神社	昭39.10.3	明治8年に入植した北海道最初の屯田兵村の兵屋の1棟で、兵屋番号140番の遺構
旧永山武四郎邸	中央区北2条東6丁目 2番地	札幌市	昭62.11.27	第2代北海道庁長官永山武四郎の私邸で、明治10年代前半に建築された和洋折衷の住宅

市指定有形文化財

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
清華亭	北区北7条西7丁目	札幌市	昭36.6.7	札幌最初の公園「偕楽園」に明治13年貴賓接待所として建築
新琴似屯田兵中隊本部	北区新琴似8条3丁目	札幌市	昭49.4.20	明治19年に新琴似屯田兵村の本部として建築されたもので、週番所（中隊本部）としては札幌における唯一の遺構
旧黒岩家住宅 （旧簾舞通行屋）	南区簾舞1条2丁目	札幌市	昭59.3.28	明治5年に本願寺道路の交通の要所となるミソマップ（簾舞）に建築されたもので、札幌における通行屋の唯一の遺構

国登録有形文化財

名称	所在地	所有者	登録年月日	概要
北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	北区北9条西7丁目 北海道大学構内	国立大学法人 北海道大学	平9.9.3	明治42年に建てられた、フランス・ルネサンス風の木造建築物
北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	中央区南4条西17丁目	学校法人北星学園	平10.9.2	大正15年、スイス人建築家ヒンデルが実施設計し建てた洋風建築
日本基督教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	中央区北1条東1丁目	日本基督教団 札幌教会	平10.9.2	明治37年に建てられた、ロマネスク風の教会建築
北海道知事公館 （旧三井クラブ）	中央区北1条西16丁目	北海道	平11.10.14	昭和11年に三井家札幌別邸新館として建てられた、ハーフティンバーの洋館
杉野目家住宅	中央区南19条西11丁目	個人所有	平11.10.14	昭和8年に建てられた、チューダー様式による集中暖房住宅
北海道大学農学部博物館 バチエラー記念館	中央区北3条西9丁目 北大植物園内	国立大学法人 北海道大学	平12.4.28	明治31年建築のバチエラー博士の旧宅を移築した、総2階建、全面下見板張の洋館
北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	中央区北3条西8丁目 北大植物園内	国立大学法人 北海道大学	平12.4.28	明治34年建築、昭和17年に建物の一部を移築したもの。木造2階建 ※現 宮部金吾記念館
北海道大学旧札幌農学校 昆虫及養蚕学教室	北区北9条西8丁目 北海道大学構内	国立大学法人 北海道大学	平12.4.28	明治34年に建てられた、1字型平面を持つ木造平屋建の建物
北海道大学旧札幌農学校 図書館読書室	北区北9条西8丁目 北海道大学構内	国立大学法人 北海道大学	平12.4.28	明治35年に建築された、T字型平面を持つ木造平屋建の図書館閲覧棟
北海道大学旧札幌農学校 図書館書庫	北区北9条西8丁目 北海道大学構内	国立大学法人 北海道大学	平12.4.28	明治35年に建築された、煉瓦造2階建、切妻造りの倉庫建築
エトウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	南区真駒内泉町1丁目	札幌市	平12.9.26	明治20年建築。下見板張、寄棟造で、正面中央の玄関及び屋根窓は切妻造
旧西岡水源池取水塔	豊平区西岡公園内	札幌市	平13.8.28	明治42年に建築された水道施設の遺構の一部
黒田家住宅主屋 黒田家住宅蔵 黒田家住宅表門 黒田家住宅石塀	中央区南13条西7丁目	黒田合資会社	平22.9.10	大正13～15年に建築された大正末の地域の建築事情を知る上で貴重な住宅
沼田家住宅旧第二りんご倉庫	豊平区西岡4条10丁目	個人所有	平24.8.13	昭和28年建築。整った意匠が特徴の煉瓦造倉庫
柳田家住宅旧りんご蔵	豊平区平岸2条5丁目	個人所有	平24.8.13	大正後期に建てられた、草創期の煉瓦造りんご貯蔵庫。煉瓦造2階建て

遠藤家住宅主屋 遠藤家住宅蔵 遠藤家住宅南石蔵 遠藤家住宅北石蔵 遠藤家住宅表門 遠藤家住宅塀	中央区南6条西5丁目	個人所有	平 26.10.7	大正8年頃建築。札幌軟石と煉瓦の塀で囲まれ、洗練された意匠を持つ近代和風建築
札幌市旧三菱鉱業寮	中央区北2条東6丁目	札幌市	令 1.9.10	三菱鉱業株式会社が、昭和12年頃に旧永山武四郎邸に附設する形で福利厚生施設として増築した洋館
北海道大学空沼小屋	南区常磐	国立大学法人北海道大学	令 4.6.29	昭和3年に建てられた、スイス人建築家ヒンデルが設計したスイス風の山小屋
さっぽろテレビ塔	中央区大通西1丁目1	株式会社さっぽろテレビ塔	令 7.3.13	昭和32年建築。内藤多仲の設計指導による自立式の鉄塔

■有形文化財（美術工芸品）

有形文化財（美術工芸品）は、擦文文化の暮らしを伝える考古資料や幕末以降の北海道開拓に関する歴史資料などが指定されています。

国指定重要文化財

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
太刀 銘国俊	—	個人所有	昭 8. 1.23	山城国粟田口の刀鍛冶、国俊作の太刀。刃文は甘美ではないが鍛えが優れており、古来名刀として名高い。
刀 無銘伝来国行	—	個人所有	昭 31. 6.28	その作風と優れた技量からみて来派の作と鑑定されるもので、国行の作と見られる健全な名刀
カラフトナヨロ惣乙名文書（ヤエンコロアイヌ文書）	北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館	国立大学法人北海道大学	令 1.7.23	カラフト西岸ナヨロの惣乙名（複数村落の統括者）をつとめたアイヌの氏族長の家に保管、伝来した文書群

道指定有形文化財

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
札幌市 K-446 遺跡出土の遺物	中央区南22条西13丁目 札幌市埋蔵文化財センター	札幌市	昭 55. 8.12	擦文時代の土器、土製支脚、紡錘車の合計17個
新琴似村屯田兵村記録	北区北8条西5丁目 北海道大学附属図書館	国立大学法人北海道大学	平 28. 3.31	北区新琴似地区に入地した屯田兵の明治中期～昭和初期の自治活動に関する記録

市指定有形文化財

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
木造日蓮聖人坐像	中央区南11条西19丁目 豊葦山妙心寺	豊葦山妙心寺	昭 56. 7.21	彩色寄木造りで、僧日住が厄除けのため寛文6年(1666年)に造立させたもの
札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡	東区北13条東16丁目 札幌村郷土記念館	札幌市	昭 62. 2.20	慶応2年(1866年)、札幌村は大友亀太郎によって開拓が進められ、その後、玉葱栽培の先進地として発展した。これらの歴史資料及び役宅跡

旧琴似川流域の竪穴住居跡分布図	中央区南 22 条西 13 丁目 札幌市埋蔵文化財センター	札幌市	平 16. 8. 25	明治 27・28 年頃高畑宜一氏により作成された、市内都心部から北区麻生町付近までの縄文時代（約 1300 年～800 年前）の竪穴住居跡の窪みを約 720 か所記録した分布図
札幌市 N30 遺跡出土品	中央区南 22 条西 13 丁目 札幌市埋蔵文化財センター	札幌市	平 16. 8. 25	平成 7・8 年に、西区二十四軒 4 条 1 丁目で発掘調査した縄文時代後期から晩期（約 3700～2300 年前）の出土品（1,413 点）。縄文時代晩期末の墓からは、土偶やサメの歯も出土
札幌独立キリスト教会文書	中央区大通西 22 丁目 札幌独立キリスト教会	札幌独立キリスト教会	平 28. 7. 28	クラーク博士起草の「イエスを信ずる者の契約」等、明治初期の文書計 7 点

■無形文化財

無形文化財は、市指定の 1 件（丘珠獅子舞）で地域の保存会によって保存・伝承されています。

市指定無形文化財

名称	所在地	保持団体	指定年月日	概要
丘珠獅子舞	東区丘珠（保持団体住所）	丘珠獅子舞保存会	昭 49. 10. 25	明治 25 年に富山県からの移住者によって伝えられ、伝承してきた獅子舞

■民俗文化財

民俗文化財は、国指定の 2 件はいずれもアイヌ民族の伝統文化に関する文化財です。

国指定重要有形民俗文化財

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
アイヌのまるきぶね	中央区北 3 条西 8 丁目 北大植物園 北方民族資料室内	国立大学法人 北海道大学	昭 32. 6. 3	木をくりぬいて製作された河沼用の丸木舟

国指定重要無形民俗文化財

名称	所在地	保護団体	指定年月日	概要
アイヌ古式舞踊	南区小金湯 27 札幌市アイヌ文化交流センター（保護団体事務局）	札幌ウポポ保存会（平 6. 12. 21 保護団体に追加）	昭 59. 1. 21	アイヌ民族に伝承されている芸能

■記念物

記念物は、建築物と同様に、近代以降の都市づくり等に関連する遺構があります。また、市街地と近接する原始林 2 件が国の天然記念物に指定されています。

国指定史跡

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	中央区北 2・3 条西 5・6 丁目	北海道	昭 42. 12. 15	明治 6 年 10 月に建築された開拓使札幌本庁舎跡
琴似屯田兵村兵屋跡	西区琴似 2 条 5 丁目	札幌市	昭 57. 5. 7	明治 7 年に建設された北海道最初の屯田兵村の兵屋跡で兵屋番号 133 番

国指定天然記念物

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
円山原始林	円山	林野庁	大 10. 3. 3	海拔 226mの山で 390 種の植物分布が見られる。
藻岩原始林	藻岩	林野庁	大 10. 3. 3	414 種の冷温帯の豊富な植物分布がある。海拔 531m

市指定史跡

名称	所在地	所有者	指定年月日	概要
手稲山口バツタ塚	手稲区手稲山口	札幌市	昭 53. 8. 21	明治 16 年にトノサマバツタの大群を駆除するために、大量の卵のうを埋めた畝状の塚跡
札幌村・大友亀太郎関係歴史資料及び史跡（再掲）	東区北 13 条東 16 丁目 札幌村郷土記念館	札幌市	昭 62. 2. 20	慶応 2 年（1866 年）、札幌村は大友亀太郎によって開拓が進められ、その後、玉葱栽培の先進地として発展した。これらの歴史資料及び役宅跡

(2) 埋蔵文化財

札幌市では、昭和 47 年（1972 年）から埋蔵文化財の保護・調査に取り組み、現在までに 542 か所（令和 6 年（2024 年）4 月現在）の埋蔵文化財包蔵地を確認しています。

(3) 未指定文化財

未指定文化財については、既往報告書等や市民アンケート、ワークショップ、シンポジウム、計画作成時のパブリックコメントなどでいただいた情報を基にリストを作成していますが、市内に存在するすべての文化財を把握しきれてはいません。

令和 7 年（2025 年）3 月現在、札幌市では 2,227 件の未指定文化財があげられており、その内訳は、以下の表のとおりです。種別で見ると景観要素（1,776 件）、有形要素（277 件）、空間要素（88 件）、無形要素（86 件）の順に件数が多くなっています。

なお、文化財保護法等以外の、次の(4)の制度により認定等されたものも、未指定文化財に含まれています（一部、指定等文化財に該当するものは、未指定文化財の件数から除いています。）。

■景観要素

「篠路屯田兵屋」や「旧札幌麦酒会社工場」などの建築物・工作物や、「アンパン道路」や「豊平橋」などの道や橋などがあります。そのほかには、明治時代以来、建築材料として使用され、札幌の景観を形作ってきた札幌軟石などの自然物、公園や緑地などのように市民の生活に密接に関わってきたものが現存しています。

■空間要素

札幌の南北軸の基となった「大友堀跡」といった水路跡や、琴似屯田兵村の道筋である「琴似屯田開拓の通」などがあげられます。

■有形要素

先人たちが作り、使用していた用具・道具のほか、明治時代の様子を知ることができる資料や絵地図、写真などの文献・資料があります。食・料理には、明治期に海外から導入されたあと、研究と改良により誕生した「札幌黄」や「札幌大

球」などの札幌の歴史を伝える伝統野菜が残されています。

■無形要素

民俗・伝承として、札幌市地域文化財に認定されている「篠路歌舞伎」や「新琴似歌舞伎」などの伝統芸能のほか、「札幌まつり（北海道神宮例祭）」、各地域で開催される「盆踊り」などの風物詩となっているイベント・行事があります。

未指定文化財の件数

大分類	中分類	属性	件数
不動産	景観要素	建築物・工作物、自然物、植物、公園、道、橋、遺跡 など	1,776
	空間要素	地割、道筋、川筋 など	88
動産	有形要素	用具・道具、食・料理、遺物、文献・資料、美術工芸品 など	277
	無形要素	民俗・伝承、技術、言葉、団体 など	86
合計			2,227

(4) 関連する制度

ア 札幌市地域文化財認定制度

札幌市地域文化財認定制度は、地域の歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた未指定・未登録の文化財を札幌市地域文化財として認定することで、その価値や魅力を市内外に広く伝え、文化財保護の機運醸成を図ることを目指し、令和5年（2023年）7月に創設されました。令和5年度（2023年度）には、5件の札幌市地域文化財が認定されました。

札幌市地域文化財

名称	所在地	所有者	認定年月日	概要
篠路歌舞伎	北区 篠路	篠路歌舞伎保存会	令 6.3.28	明治35年に発祥し、北区篠路地域に伝承される民俗芸能。昭和9年11月に一度終焉を迎えるが、昭和60年に復活
新琴似歌舞伎	北区 新琴似	新琴似歌舞伎伝承会	令 6.3.28	明治30年頃に発祥し、北区新琴似地域に伝承される民俗芸能。大正5年頃に一度終焉を迎えるが、平成5年に復活
苗穂小学校学校記念館	東区 北9条東13丁目	札幌市	令 6.3.28	昭和12年に建設された木造校舎の一部を保存したもので、札幌市街地では唯一の木造2階建て校舎
阿部家住宅	北区	個人所有	令 6.3.28	住宅は明治30年代に建築されたとされる洋風建築物で、札幌で数少なくなった明治期からの建物
阿部氏庭	北区	個人所有	令 6.3.28	昭和戦前期頃の植生といわれるクリの木、灯籠や飛び石が当時の面影を伝え、建造物と庭園が一体で保存されている。

イ さっぽろ・ふるさと文化百選

さっぽろ・ふるさと文化百選は、昭和63年（1988年）に札幌創建120周年を記念して、「北国の生活の息吹と開拓の労苦を伝える身近な文化遺産を再発見し、市民自らの手でこれを守り、後世に伝えていくこと」を目的として、札幌市が選定した計100件（選定当時。建物46件、遺跡26件、街並み19件、用具5件、まつりや行事など4件）の文化財です。さっぽろ・ふるさと文化百選の一部は指定等文化

財や札幌景観資産にもなっています。

さっぽろ・ふるさと文化百選

	番号	名称	所在地	備考
建物	1	旧札幌麦酒会社工場	中央区北2東4～5	
	2	旧福山商店	中央区北3東3	
	3	カトリック北1条教会	中央区北1東6	札幌景観資産
	4	日本キリスト教団札幌教会	中央区北1東1	札幌景観資産 国登録有形文化財（日本基督教団札幌教会）
	5	東辰医院	中央区大通東7	平成3年解体
	6	旧遠藤醸造店	西区宮の沢2-2	平成2年解体 平成7年一部再現
	7	秋野総本店薬局	中央区南1西1	
	8	豊水小学校大典記念文庫	中央区南8西2	
	9	浅野邸	中央区南5西8	平成22年解体
	10	東本願寺札幌別院	中央区南8西8	
	11	旧小熊邸	中央区伏見5	平成10年移築 札幌景観資産
	12	旧藪商事ビル	中央区南1西13	札幌景観資産
	13	杉野目邸	中央区南19西11	登録有形文化財 札幌景観資産
	14	旧北星女学校宣教師館	中央区南4西17	札幌景観資産 国登録有形文化財（北星学園創立百周年記念館）
	15	北海道拓殖銀行旧本店	中央区宮の森904	平成14年解体
	16	大倉シャンツェ	中央区宮の森1274	
	17	知事公館	中央区北1西16	国登録有形文化財（北海道知事公館）
	18	旧札幌控訴院	中央区大通西13	国指定重要文化財（旧札幌控訴院庁舎）
	19	伊藤邸	中央区北5西8	平成6年解体
	20	旧札幌博物場	中央区北3西9 北大植物園内	国指定重要文化財（北海道大学農学部植物園・博物館）
	21	旧バチエラー邸	中央区北3西9 北大植物園内	国登録有形文化財（北海道大学農学部博物館バチエラー記念館）
	22	中央警察署	中央区北1西5	平成8年解体 平成10年一部復元
	23	旧庁立図書館	中央区北1西5	
	24	旧札幌農学校校舎	北区北9西8 北海道大学構内	国登録有形文化財 （北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室、図書館読書室、図書館書庫）
	25	古河記念講堂	北区北9西7 北海道大学構内	国登録有形文化財 （北海道大学古河記念講堂）
	26	旧藤高等女学校校舎	北区北16西2 藤学園内	平成13年解体 平成15年一部復元
	27	新琴似屯田兵屋	北区新琴似1-5	平成25年解体
	28	近藤牧場	北区新川694	
	29	篠路屯田兵屋	北区屯田5-6 屯田地区センター郷土資料館	
	30	篠路駅周辺の倉庫群	北区篠路3-7	
	31	北海湯	東区北7東3	札幌景観資産

	32	旧菊亭脩季邸	東区北7東8	平成9年解体
	33	旧札幌製糖会社工場	東区北7東9	現サッポロビール博物館
	34	本龍寺の妙見堂	東区北14東15	
	35	J R 苗穂工場	東区北5東14	
	36	旧馬場農場のサイロ	厚別区厚別中央2-3	
	37	旧出納邸	厚別区上野幌1-5	
	38	恵庭荘	厚別区上野幌1-5	
	39	旧北部軍司令官官邸	豊平区月寒東2-2	
	40	八紘学園の洋館と牧舎	豊平区月寒東1-12~13	札幌景観資産
	41	旧石山郵便局	南区石山2-3	札幌景観資産
	42	旧真駒内種畜場事務所	南区真駒内泉町1	札幌景観資産 国登録有形文化財（エドウィン・ダン記念館）
	43	旧有島武郎邸	南区芸術の森2	
	44	ヘルベチアヒュッテ	南区定山溪	
	45	三谷牧場	西区発寒8-13	平成15年敷地の縮小 平成30年解体
	46	旧軽川駅舎	手稲区手稲本町1-3	平成11年解体
遺跡	47	島義勇とコタンベツの丘	中央区宮ヶ丘	
	48	札幌焼釜跡	中央区界川4	
	49	すすきの遊廓跡	中央区南4~5西3~4	
	50	札幌建設の地	中央区南1西1	
	51	遠友夜学校跡	中央区南4東4 新渡戸稲造記念公園内	
	52	吉田茂八ゆかりの地	中央区南5東4	
	53	札幌農学校とクラーク博士	北区北9西7北海道大学構内	
	54	北大遺跡保存庭園	北区北18西11~12 北海道大学構内	
	55	偕楽園跡	北区北7西7偕楽園緑地	
	56	荒井金助と早山清太郎ゆかりの地	北区篠路町篠路5-10 龍雲寺	
	57	篠路の馬魂碑・馬頭観音	北区篠路町拓北山口太師内ほか	
	58	藍栽培ゆかりの地	北区篠路町篠路425 辺り (ペケレット湖園)	
	59	大友堀跡	東区北13東16大友公園内	
	60	日の丸農場跡	東区北41東10ひのまる公園内	
	61	レンガ工場跡	白石区本通9南	
	62	白石入植の地	白石区本通14北1	
	63	志村鐵一ゆかりの地	豊平区豊平4-1	
	64	平岸リング園跡	豊平区平岸2-17 天神山緑地内	
	65	平岸の開拓と精進川	豊平区平岸	
	66	アンパン道路	豊平区月寒西4-6 アンパン道路記念碑	
	67	伝説・おいらん淵	南区真駒内柏丘12 藻南公園内	
	68	石山軟石採掘場跡	南区石山78	
	69	本願寺街道	南区簾舞3-3（簾舞中学校周辺）	
	70	旧定山溪鉄道	南区定山溪温泉東4丁目 定山溪スポーツ公園	
	71	琴似屯田開拓の通	西区琴似	
	72	時習館跡	西区西町北19丁目中の川公園内	

街並	73	円山八十八ヶ所	中央区宮ヶ丘	
	74	裏参道	中央区南2西20～28	
	75	円山の朝市	中央区北6西24	平成22年閉鎖・解体
	76	桑園の大学村	中央区北6西11～13	
	77	木レンガ舗装とイチョウ並木	中央区北3西4北3条広場	
	78	北大植物園	中央区北2西8	
	79	北1条通りのアカシア並木	中央区北1西1～西19	
	80	大通公園	中央区大通西1～12	
	81	中島公園	中央区中島公園	
	82	山鼻屯田兵村跡	中央区南6～22西8～13	
	83	狸小路	中央区南2西1～9	
	84	二条市場	中央区南2～3東1～2	
	85	創成川と創成橋	中央区南1西1～東1	
	86	創成川通りのポプラ並木	北区屯田1～6	
	87	屯田防風林	北区屯田	
	88	北大ポプラ並木	北区北11～12西10	
	89	元村街道と大覚寺の山門	東区北7～10東3～11	
	90	旧月寒種羊場	豊平区羊ヶ丘	
	91	定山坊と定山溪温泉	南区定山溪温泉	
用具	92	スキー・スケートの伝来	中央区宮の森1274 札幌オリンピックミュージアム	平成12年移転
	93	バター・チーズ製造用具	東区東苗穂町6酪農と乳の歴史館内	
	94	貯炭式のストーブ第1号	厚別区厚別町小野幌北海道博物館内	
	95	路面電車22号	南区真駒内東町1交通資料館内	
	96	ササラ電車	南区真駒内東町1交通資料館屋外展示場	
まつり・行事	97	札幌祭り	中央区宮ヶ丘474 北海道神宮内	
	98	篠路の獅子舞	北区篠路4-7 篠路神社	
	99	恵迪寮歌「都ぞ弥生」	北区北17西9北海道大学構内 都ぞ弥生歌碑	
	100	藻岩山の山開き	南区藻岩山	

※ 名称は選定時のもの

ウ 景観制度による指定

■景観重要建造物

景観重要建造物は、景観法により指定されるもので、歴史文化など地域の景観を特徴付けている建造物及び市民や観光客に親しまれている建造物など、景観形成上重要な価値のある建造物で、札幌市は、平成21年（2009年）に2件を、令和3年（2021年）に1件を指定しています。

景観重要建造物

名称	所在地	指定年月日
日本福音ルーテル札幌教会	中央区南12条西12丁目	平21.3.31
めばえ幼稚園	中央区南12条西12丁目	平21.3.31
柳田家住宅旧りんご蔵	豊平区平岸2条5丁目	令3.3.10

■札幌景観資産

札幌景観資産は、札幌市が札幌市景観条例に基づき指定するもので、景観形成上価値があると認められる建築物等、樹木その他の物で、意匠、様式（樹木にあっては樹木の姿）等が良好な景観を特徴付けているものや将来のまちづくりに生かされる可能性がある資産です。一部は、指定等文化財や、さっぽろ・ふるさと文化百選にもなっています。

札幌景観資産

名称	所在地	指定年月日	備考
日本食品製造合資会社旧工場	西区八軒 1 条西 1 丁目	平 13.7.31	
北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	中央区南 4 条西 17 丁目	平 17.3.3	登録有形文化財 さっぽろ・ふるさと文化百選
旧小熊邸	中央区伏見 5 丁目	平 17.3.3	さっぽろ・ふるさと文化百選
旧石山郵便局	南区石山 2 条 3 丁目	平 17.3.3	さっぽろ・ふるさと文化百選
杉野目邸	中央区南 19 条西 11 丁目	平 17.3.3	登録有形文化財 さっぽろ・ふるさと文化百選
日本基督教団札幌教会礼拝堂	中央区北 1 条東 1 丁目	平 18.3.7	登録有形文化財 さっぽろ・ふるさと文化百選
八紘学園栗林記念館（旧吉田善太郎別邸）	豊平区月寒東 1 条 12 丁目	平 18.3.7	さっぽろ・ふるさと文化百選
八紘学園資料館（旧吉田牧場畜舎・サイロ）	豊平区月寒東 1 条 13 丁目	平 18.3.7	さっぽろ・ふるさと文化百選
旧石切山駅	南区石山 1 条 3 丁目	平 18.3.7	
旧中井家リンゴ倉庫	豊平区平岸 3 条 2 丁目	平 18.3.7	
旧沼田家りんご倉庫	豊平区西岡 4 条 10 丁目	平 19.3.30	
北海湯	東区北 7 条東 3 丁目	平 19.3.30	さっぽろ・ふるさと文化百選
札幌聖ミカエル教会	東区北 19 条東 3 丁目	平 19.12.19	
エドウィン・ダン記念館（旧真駒内種畜場事務所）	南区真駒内泉町 1 丁目	平 20.3.26	登録有形文化財 さっぽろ・ふるさと文化百選
城下医院	中央区南 5 条西 21 丁目	平 20.3.26	
カトリック北一条教会 聖堂	中央区北 1 条東 6 丁目	平 20.3.26	さっぽろ・ふるさと文化百選
カトリック北一条教会 司祭館カテドラルホール	中央区北 1 条東 6 丁目	平 20.3.26	
旧敷商事会社ビル	中央区南 1 条西 13 丁目	平 21.1.7	さっぽろ・ふるさと文化百選
高城商店	東区北 7 条東 4 丁目	平 21.3.31	
札幌市水道記念館（旧藻岩第一浄水場）	中央区伏見 4 丁目	平 21.3.31	
旧市民会館前のハルニレ	中央区大通西 1 丁目	平 21.3.31	
永井邸	中央区南 2 条西 12 丁目	平 21.8.6	
岩佐ビル	中央区北 3 条東 5 丁目	平 22.3.30	
旧沼田家倉庫	東区東苗穂 5 条 2 丁目	平 22.7.21	
旧札幌麦酒製麦所	東区北 7 条東 9 丁目	令 3.7.28	
モエレ沼公園	東区モエレ沼公園	令 3.12.7	
旧平岸下本村農事実行組合共同撰果場	豊平区平岸 2 条 6 丁目	令 4.3.23	
ミュンヘン大橋	南区南 30 条西 8 丁目	令 6.4.8	
八紘学園ポプラ並木	豊平区月寒東 2 条 13 丁目、3 条 11 丁目	令 6.4.9	

工 北海道遺産

北海道遺産は、NPO 法人北海道遺産協議会により、次の世代へ引き継ぎたい有形・無形の財産の中から北海道民全体の宝物として、北海道の豊かな自然、北海道に生きてきた人々の歴史や文化、生活、産業など、各分野から道民参加によって選ばれたもので、74 件が選定されています。一部の遺産の構成要素には、国・道・市の指定文化財が含まれます。

北海道遺産（札幌市関連分）

北海道遺産	選定年月日	備考
北海道大学 札幌農学校第2農場 北条北 18 条西 8 丁目	平 13.10.22	国指定重要文化財
路面電車 札幌市交通資料館：南区真駒内東町 1 丁目	平 13.10.22	
アイヌ語地名	平 13.10.22	
アイヌ文様	平 13.10.22	
北海道のラーメン	平 13.10.22	
開拓使時代の洋風建築 時計台（旧札幌農学校演武場）：中央区北 1 条西 2 丁目 豊平館：中央区中島公園 1 旧永山武四郎邸：中央区北 2 条東 6 丁目 清華亭：北条北 7 条西 7 丁目 旧黒岩家住宅（旧簾舞通行屋）：南区簾舞 1 条 2 丁目 4-15	平 16.10.22	国指定重要文化財 国指定重要文化財 道指定有形文化財 市指定有形文化財 市指定有形文化財
札幌苗穂地区の工場・記念館群 サッポロビール博物館：東区北 7 条東 9 丁目 酪農と乳の歴史館：東区苗穂町 6 丁目 1-1 北海道鉄道技術館：東区北 5 条東 13 丁目 福山醸造：東区苗穂町 2 丁目 千歳鶴酒ミュージアム：中央区南 3 条東 5 丁目 1	平 16.10.22	
屯田兵村と兵屋 琴似屯田兵村兵屋跡：西区琴似 2 条 5 丁目 琴似屯田兵屋：西区琴似 1 条 7 丁目 琴似神社境内	平 16.10.22	国指定史跡 道指定有形文化財
アイヌ口承文芸	平 16.10.22	
サケの文化 札幌市豊平川さけ科学館：南区真駒内公園 2-1	平 16.10.22	
ジンギスカン	平 16.10.22	
大友亀太郎の事績と大友堀遺構 札幌村郷土記念館：東区北 13 条東 16 丁目 2-6	平 30.11.1	市指定有形文化財・市指定史跡
パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)	平 30.11.1	
札幌軟石 札幌市資料館（旧札幌控訴院）：中央区大通西 13 丁目 石山緑地：南区石山 78	平 30.11.1	国指定重要文化財
松浦武四郎による蝦夷地踏査の足跡	平 30.11.1	
下の句かるた	令 4.10.13	

※参考：北海道遺産ホームページ<http://www.hokkaidoisan.org/>、「北海道遺産」読本（北海道新聞社[編]）

オ ユネスコ無形文化遺産

平成 15 年（2003 年）のユネスコ（国際連合教育科学文化機関）総会において、無形文化遺産の保護を目的とした「無形文化遺産の保護に関する条約」が採択されました。この条約においては、締約国が自国内で無形文化遺産の目録を作成し、保護措置を取ることや、また、国際的な保護措置として「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」や「緊急に保護する必要がある無形文化遺産の一覧表」を作成し、援助を行うことなどが定められています。

札幌市に関連するものとしては、「アイヌ古式舞踊」が、平成 21 年（2009 年）に「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載されています。

ユネスコ無形文化遺産（札幌市関連分）

人類の無形文化遺産の代表的な一覧表	記載年	備考
アイヌ古式舞踊	平成 21 年	国指定重要無形民俗文化財

カ 100 年フード

文化庁では、我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100 年続く食文化「100 年フード」と名付け、継承していくことを目指す取組を推進しており、これまでに 250 件の食文化が認定されています。

100年フード（札幌市関連分）

近代の 100 年フード部門～明治・大正に生み出された食文化～	選定年度	備考
ジンギスカン	令和 3 年度	

※参考：食文化あふれる国・日本ホームページ<https://foodculture2021.go.jp/>